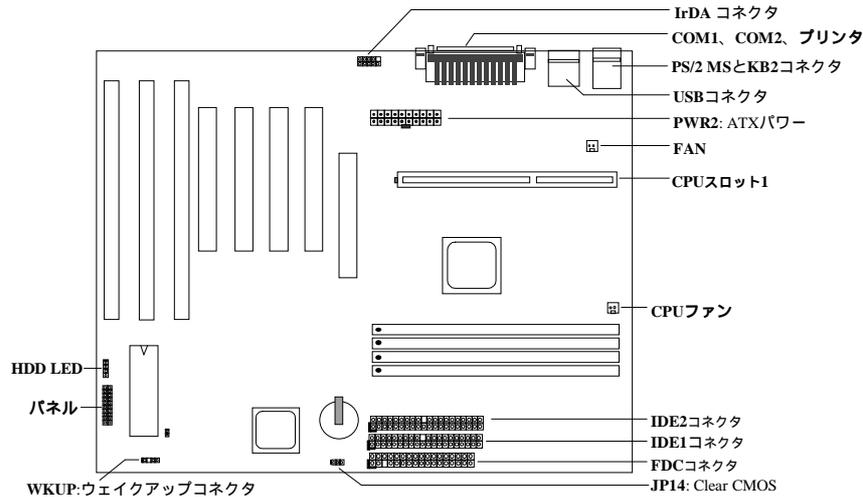


クイックインストールガイド

AOpen's AX6Lマザーボードをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。当ガイドは、マザーボードのシステムへのインストール方法を説明します。以下の図は、マザーボード上のジャンパー及びコネクタの位置を表します。



AX6Lは以下のような特別機能がたくさん用意されています。

ジャンパーレスデザイン Pentium II VIDシグナルとSmbusクロックジェネレータの電圧の自動検出を行い、CPUの周波数をCMOS設定プログラムを通して設定するようデザインされているので、ジャンパーやスイッチが不要ありません。

バッテリーレスマザーボード AX6LはEEPROMと特別回線(特許取得)を備えているため、現在のCPUとCMOS設定をバッテリーを使うことなく保存することができます。RTC(リアルタイムクロック)は、電源が接続されている以上維持することができます。

ハードドライブへのサスペンド この機能は、作業中のファイルをハードディスクに保存し、すぐに作業を再開します。

モデムウェイクアップ この機能は、システムの電源を完全に切っている状態で電話がかかると、システム電源を自動的に入れ、データ通信などに応答することができます。

RTCウェイクアップタイマー システムを起動させる日/時間を設定します。

過電流保護 3.3V 10A及びCPU Vコア 15A 電流超過保護は、事故的に発生するショートを防止します。

CPU高温保護 CPUの温度が定められた温度よりも高くなると警告します。

CPUファン監視機能 システムはCPUファンの機能不全に対し、CPUのオーバーヒートを防ぐよう警告します。

システム電圧監視機能 この機能は、システムで使用されている電圧を常に関しします。

スイッチング・レギュレータ より高効率なCPU用のスイッチング・レギュレータです。

75/83.3Mhz外部クロック AX6LTは、75/83.3Mhz外部クロックをサポートしています。この機能を利用するときは、注意してください。

FCC DoC承認 AX6LはCC DoCテストに合格しており、放射線は極めて低く、家庭でのご使用に適しています。



注：このクイックインストールガイドは参考のために提供されるものです。更に詳しくは、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

クイックインストールガイド

CPUコア電圧の設定

当マザーボードはPentium II (Klamath) VID機能に対応しています。CPUコア電圧は自動的に検出され、その範囲は1.3Vから3.5Vです。

CPU周波数の設定

CPU周波数は:

BOIS Setup à **Chipset Features Setup** à **CPU Clock Frequency**

(有効な設定は66、68.5、75、83.3 Mhzです。)

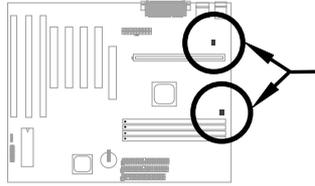
BOIS Setup à **Chipset Features Setup** à **CPU Clock Ratio**

(有効な設定は1.5x、2x、2.5x、3x、3.5x、4x、4.5x、5x、5.5x、6x、6.5x、7x、7.5x、8xです。)

コア周波数 = 比率 * 外部バスクロック

INTEL Pentium II	CPU コア周波数	比率	外部バスクロック
Pentium II 233	233MHz =	3.5x	66MHz
Pentium II 266	266MHz =	4x	66MHz
Pentium II 300	300MHz =	4.5x	66MHz
Pentium II 333	333MHz =	5x	66MHz

CPUファンの接続



ファンケーブルを、3-pinの**CPU FAN**または**FAN1**に接続して下さい。ファンコネクタは両方ともハードウェア監視機能をサポートしていますが、CPUファンコネクタのみを使ってファンをオン/オフすることができます。

Intel PIIX4チップセットとSeagate HDDのコンパチビリティ

古いSeagate HDDで、Ultra DMAのないものの中には、3.3V PIIX4チップセット(Intel 440LX及び430TX)との対応に問題が生じるものがあります。新しいUltra DMAにはこの様な問題はありません。



ヒント: ラベルとダンパー("3.3V & 5V Interface Compatible"というラベルの表面にある文字)の間のカバーに緑色のラベルがあったら、このHDDはPIIX4のテストがなされており、使用可能という意味です。

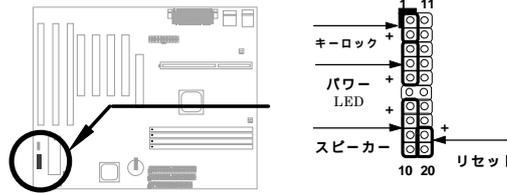
バッテリー・レス デザイン

環境保護のため、AOpen AX6Lは世界で初めてのバッテリーを必要としないマザーボードを設計しました。ATXパワーケーブルが接続されていれば、RTC(リアルタイムクロック)とCMOS設定はバッテリーを必要としません。ACパワーコードは、電源を切ったり、事後的にシャットダウンされた場合、CMOS設定とシステム設定がEEPROMに保存され、システムクロックだけを現在の時間を設定する必要がありました。

クイックインストールガイド

パネルケーブルの接続

パワーLED、キーボード、スピーカーを接続し、スイッチコネクタを各ピンにリセットして下さい。



BIOS設定の初期値を呼び出す

BIOS設定モードに入るには、POST(パワーオン自己診断)の途中で **DEL** を押して下さい。 "Load Setup Defaults"を選択することをお勧めします。システムの部品(CPU、DRAM、HDD等)がターボ設定に十分に対応できることが確かな場合を除き、"Load Turbo Defaults"は選択しないで下さい。更に詳しい情報については、ユーザーズマニュアルの"AWARD BIOS"をご覧ください。

WIN'95で"? "マークをなくすには

Intelは、"ACPI"、"USB"及び"Ultra DMA/33"の最新版と共に430TXまたは440LXチップセットを紹介しています。これらのデバイスは非常に新しいため、1995年8月発売のWin95ではサポートしていません。この問題を解決するために、AOpenソはAOchip.exeというユーティリティを開発しました。このユーティリティは、同封されているCDか、または私たちnウェブサイトで購入することができます。大変使いやすく、AOpenのマザーボードだけに使用が限られていないので、全てのTX/LXメインボードとの併用が可能です。このユーティリティを使用するには、aochip.exeディレクトリを実行して下さい。

Ultra DMA/33ドライバのインストール

バスマスターIDEモードに対応するには、バスマスターIDEドライバとバスマスターIDE HDDが必要となります。このドライバは、同封されたCDか、私たちのウェブサイトで購入することができます。また、このプログラムをインストールするためにsetup.exeを実行して下さい。



警告: このドライバをインストールすると、ハードディスクへのサスペンドに失敗することがあります。

CPU温度保護

CPUの温度が定められた値よりも高くなると、CPUの速度は自動的に遅くなり、PCスピーカーが音を発します。この機能に対応するため、AOpenソフトウェアチームは、HWMONというユーティリティを開発しました。これは、CPUの温度と電圧の監視を行います。このプログラムは、同封されたCDか、または私たちのウェブページで購入することができます。

モデムウェイクアップ

ATXソフトパワー-On/Offと併用することで、システムを完全にシャットダウンし、データ通信の呼び出し時などに自動的にシステムをスタートさせることができます。この新しいモデムウェイクアップ機能は、外部接続のモデムだけでなく、内蔵モデムにも活用することができます。AX6L及びMP56内部モデムカードは、特別な回路を使ってモデムカードが電源なしでも作動するように設計されています。モデムウェイクアップ機能について、更に詳しくは、ユーザーズマニュアルをご覧ください。

クイックインストールガイド

ハードディスクのサスペンド機能

オプション 1: /file スイッチを使用(FAT16ファイルシステム応用):

以下のコマンドを使い、ハードディスクへ一時停止する時に、システム状況とメモリーイメージを保存しますので、ハードディスクの中のルートディレクトリに隠しファイルを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /file
```

隠しファイルを作成するために十分なHDDスペースがあることを確認して下さい。システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBの場合、少なくとも36MB(32MB+4MB)の連続ハードディスクスペースが必要となります。AOZVHDDがHDDスペースの作成に失敗した場合、MS-DOSやWin95と共に提供されている"DEFRAG"ユーティリティ、または"Disk Defragmenter"を使い、HDDスペースを調整して下さい。

オプション2: /partition スイッチを使用(FAT16/FAT32ファイルシステム応用):

ハードドライブへ一時停止のために、別のパーティションを作成するには、使用可能なパーティションが必要です。メモリ拡張のために十分なパーティションスペースを残しておいて下さい。例えば、システムメモリが32MBで、VGAメモリが4MBで、今後システムメモリを64MBまでアップグレードしたい場合、ディスクユーティリティ(fdisk等)を使い、68MB(64MB+4MB)のスペースを確保しておいて下さい。次に、以下のコマンドを使って一時停止パーティションを作成して下さい。

```
C:>AOZVHDD /c /partition
```

余分なパーティションスペースがなく、データを消去したくない場合は、パーティション方法を使用しないでください。詳しくはユーザーズマニュアルをご覧ください。

システムBIOSの更新方法

BIOSをアップグレードするには、以下の手順で行って下さい。

1. AOpenのウェブサイトから新しいBIOSバイナリファイル入手して下さい。例えば、AX6L150.BIN等です。
2. メモリハンドラー(EMM386等)やデバイスドライバをロードせずに、フロッピーディスクからシステムを起動させて下さい。
3. A:> AOFFLASH AX6L150.BINを実行して下さい。
4. 新しいBIOSコードを呼び出すと、ユーティリティは本来のBIOSコードをHDDかフロッピーに保存するように警告します。"Y"を押し、"BIOS.OLD"として保存して下さい。
5. 古いBIOSを保存したら、"Y"を押しBIOSを置き換えて下さい。
6. "FLASHING"の際には、コンピュータの電源を切らないで下さい。
7. "FLASHING"の後に電源を切り、コンピュータを再起動させて下さい。
8. POSTの際に"DEL"キーを押して、BIOSセットアップにアクセスして下さい。
9. "BIOS SETUP DEFAULT"を呼び出し、その他の項目を同じように設定し直して下さい。
10. 変更を保存し、BIOSセットアップ終了して下さい。

詳しくは、ユーザーズマニュアルの"BIOSフラッシュユーティリティ"に関する項目をご覧ください。